



VFD256Ⅲユーティリティソフト
VFD256DISP3

取扱説明書

目次

1. はじめに	1
2. インストール手順.....	1
3. VFD256DISP3 使用方法.....	2
3.1 実行時パラメータ	5
3.2 INI ファイル.....	8

1. はじめに

「VFD256DISP3」は、Windows PC 用 VFD256Ⅲユーティリティソフトウェアです。
本プログラムを使用することで、VFD256Ⅲへの表示を PC 上から簡単に行うことができます。
ダイアログを使用した表示の他、パラメータとして表示メッセージを付加して EXE を実行することもできるため、お客様のプログラムから EXE を呼び出すことで、VFD256Ⅲにメッセージを表示できます。

対応 OS : Windows10 32bit 版、64bit 版
Windows11 64bit 版

2. インストール手順

「VFD256DISP3」のインストール手順について説明します。
「VFD256DISP3」フォルダ下に以下のファイルがあることを確認してください。

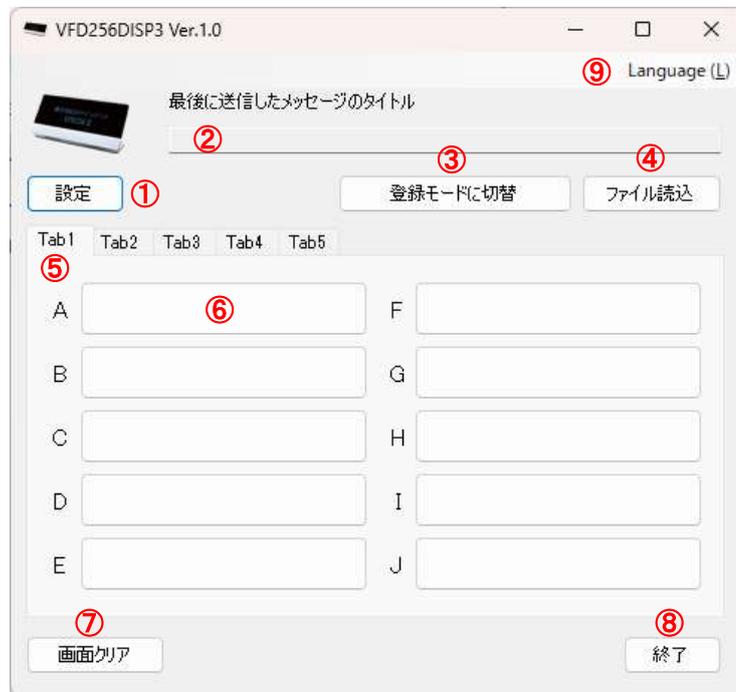
- VFD256DISP3.exe
- VFD256DISP3.INI
- c3Vfd256.dll
- tv3Vfd256.dll
- ja-JP フォルダ - VFD256DISP3.resources.dll

インストールは「VFD256DISP3」フォルダをお客様の PC 環境に合わせて任意のフォルダにコピーします。(※ C:¥Program Files フォルダ内では INI ファイルが動作しないため C:¥Program Files フォルダ以外のフォルダにコピーして下さい)

VFD256DISP3.exe を起動することで VFD256DISP3 を使用できます。

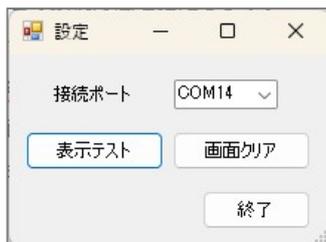
3. VFD256DISP3 使用方法

インストール後、VFD256DISP3 を立ち上げると以下のダイアログが表示されます。



① 設定

設定ボタンを押すと以下の設定画面が表示されます。



「接続ポート」 VFD256Ⅲの接続ポートを指定します。

「表示テスト」 サンプル文字列を VFD256Ⅲ に表示します。表示内容は VFD256DISP3.INI で定義した [DefaultText] の Text1、Text2 (「P.8 INI ファイル」参照) です。表示テストボタンを押すことで、VFD256DISP3.INI に接続ポートが保存されます。

「画面クリア」 VFD256Ⅲの画面をクリアします。

「終了」 設定画面を閉じます。

② 最後に送信したメッセージのタイトル

VFD256Ⅲに最後に送信したメッセージのタイトルが表示されます。

③ 登録モードに切替

このボタンを押すと、「登録モードに切替」⇒「表示モードに切替」⇒「登録モードに切替」の順で変わります。「登録モードに切替」を押して A~J のボタンを押すと、以下の登録画面が表示されます。

「表示モードに切替」を押して A~J のボタンを押すと、A~J に登録した文字列が VFD256Ⅲに表示されます。

以下は登録方法です。

「**タイトル**」 ここで入力した文字列がタイトル名になります。

「**表示モード**」 VFD256Ⅲに表示させる行数、文字サイズを指定します。

「**1 行目**」 VFD256Ⅲの 1 行目に表示させる文字列を入力します。

「**2 行目**」 VFD256Ⅲの 2 行目に表示させる文字列を入力します。

「**3 行目**」 VFD256Ⅲの 3 行目に表示させる文字列を入力します。

「**4 行目**」 VFD256Ⅲの 4 行目に表示させる文字列を入力します。

・表示モードによって、登録できる行数が異なります。

「**スクロール**」 ここで入力した文字列が以下の設定値で画面横にスクロールします。

「文字サイズ」・・・ 8,16,32dot から選択します。(8dot は半角のみ)

「表示位置」・・・ 0~7(VFD256Ⅲ画面の縦位置)から選択します。

・登録できるスクロールパターンは 1 種のみです。

・文字表示がない状態でも、スクロールさせることは可能です。

- ・文字表示にスクロール文字が被らないよう、表示位置を調整してください。
- ・スクロールの文字サイズによって、表示位置に制限があります。

「テスト送信」 「文字表示」欄、「スクロール」欄に入力した文字列が VFD256Ⅲに表示されます。

「C」 文字列をクリアします。

「画面クリア」 VFD256Ⅲの画面をクリアします。

「登録」 メッセージを登録します。

「終了」 登録画面を閉じます。

④ ファイル読込

VFD256DISP3 の A～J ボタンに登録したメッセージは VFD256DATA3.INI ファイル(「3.2 INI ファイル」参照)に保存されます。VFD256DISP3.EXE を起動すると、この INI ファイルを自動で読み込み、VFD256DISP3 画面に表示します。

上記 INI ファイル以外にも VFD256Ⅲに表示させるメッセージを保存することができます。

(例：VFD256DATA3_2.INI) 用途ごとに表示内容を変えたい場合などに便利です。

メッセージの作成・保存の方法は VFD256DATA3.INI と同様に行います。保存後、「ファイル読込」ボタンから該当 INI ファイルを読み込み、メッセージの登録変更や VFD256Ⅲへの表示を行うことができます。

⑤ Tab (Tab1 ～ Tab5)

タブ名で右クリックするとタブ名を変更することができます。1 つのタブで 10 個のメッセージを登録できるので、最大 50 個のメッセージを登録できます。

⑥ A～J の各ボタン

「登録モードに切替」を押した後、A～J のボタンを押すと登録画面が表示されます。

「表示モードに切替」を押した後、A～J のボタンを押すと、登録したメッセージが VFD256Ⅲの画面に表示されます。

⑦ 画面クリア

VFD256Ⅲの画面をクリアします。

⑧ 終了

終了ボタンを押下すると、以下のダイアログが表示されます。



「はい」 VFD256Ⅲ本体の電源を OFF にして VFD256DISP3.exe を終了します。

「いいえ」 VFD256Ⅲ本体の電源は ON のままで VFD256DISP3.exe を終了します。

⑨ Language

言語(日本語、英語)の表示を切り替えます。

3.1 実行時パラメータ

インストールされた VFD256DISP3.EXE を外部プログラムとして呼び出すことができます。EXE を呼び出す際に、コマンドプロンプトから以下のようにパラメータを入力して任意の文字列を VFD256Ⅲに送ります。

VFD256DISP3.EXE /Ma3 “1 行目に表示する任意の文字列” “2 行目に表示する任意の文字列”

/INI	デフォルト値の VFD256DISP3.INI ファイルをカレントパスへ作成します。 古いパラメータの入った INI ファイルはデフォルト値で上書きされます。 (デフォルト値は「3.2 INI ファイル」を参照) 古い INI ファイルが必要であれば、実行前に保存してください。
/TEST1	2 行表示、文字サイズ 32dot で以下のテストメッセージを表示します。 1 行目 : 1234567812345678 2 行目 : 1234567812345678
/TEST2	2 行表示、文字サイズ 32dot で以下のテストメッセージを表示します。 1 行目 : ABCDEabcde+¥123- 2 行目 : アイエオカキクケコサシセソタ
#Filename	2 行表示、文字サイズ 32dot で指定したファイルの先頭 32 文字 (半角英数カナ) を表示します。 ※全角の場合は先頭 16 文字 (全角英数カナ漢字)

#	<p>2行表示、文字サイズ 32dot で デフォルトファイルの先頭 32 文字（半角英数カナ）を表示します。 デフォルトファイルは VFD256DISP3.INI の [File]の NAME で指定します。 ※全角の場合は先頭 16 文字（全角英数カナ漢字）</p>
'任意の文字列' (※1)	<p>2行表示、文字サイズ 32dot で 指定した文字列の最大 32 文字（半角英数カナ）を表示します。 ※全角の場合は先頭 16 文字（全角英数カナ漢字）</p>
-任意の文字列 (※1)	<p>2行表示、文字サイズ 32dot で 指定した文字列の最大 32 文字（半角英数カナ）を表示します。 ※全角の場合は先頭 16 文字（全角英数カナ漢字）</p>
/CLS	表示をクリアします。
なし	パラメータを指定しない場合、ダイアログを表示します。
/Ma3 "文字列 1" "文字列 2" (※2)	<p>1 行目に文字列 1 を文字サイズ 32dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 32dot で表示</p>
/Mb "文字列 1" "文字列 2" "文字列 3" "文字列 4" (※2)	<p>1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 16dot で表示 3 行目に文字列 3 を文字サイズ 16dot で表示 4 行目に文字列 4 を文字サイズ 16dot で表示</p>
/Mc "文字列 1" "文字列 2" "文字列 3" (※2)	<p>1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 16dot で表示 3 行目に文字列 3 を文字サイズ 16dot で表示</p>
/Md "文字列 1" "文字列 2" "文字列 3" (※2)	<p>1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 32dot で表示 3 行目に文字列 3 を文字サイズ 16dot で表示</p>

/Mf3 “文字列 1” “文字列 2” “文字列 3” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 16dot で表示 3 行目に文字列 3 を文字サイズ 32dot で表示
/Mi “文字列 1” “文字列 2” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 16dot で表示
/Mj “文字列 1” “文字列 2” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 32dot で表示
/Mk “文字列 1” “文字列 2” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 16dot で表示 2 行目に文字列 2 を文字サイズ 48dot で表示
/MI “文字列 1” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 48dot で表示
/Mm “文字列 1” (※2)	1 行目に文字列 1 を文字サイズ 64dot で表示
/SET-P 接続ポート- B ボーレート /SET-P 接続ポート /SET-B ボーレート	この SET パラメータは、上記パラメータの 最初 に 付加して使用します。 「接続ポート」には、接続するシリアルポート番 号として、COM 1 ,COM 2 等、を設定します。 「ボーレート」は使用するボーレート値を設定し ます。(出荷時固定 115200) ※SET パラメータで指定した「接続ポート」「ボー レート」は INI ファイルの値より優先されます。 例： VFD256DISP3.EXE /SET-PCOM3 /CLS

(※1) 文字列内に「」、「>」、「<」、「&」、「%」、「^」、「|」、「”」を表示させたい場合、
ハット記号「^」を文字の前に使用して「^」のように入力して下さい。

(※2) 文字列内に、「”」を表示させたい場合、「””」と入力して下さい。

3.2 INI ファイル

インストールしたユーティリティプログラムの入ったフォルダに、以下の3つのINIファイル「VFD256DISP3.INI」「VFD256DATA3.INI」「VFD256TAB3.INI」があり、起動時に使用されます。インストール後やINIファイルが存在しないときは、最初のVFD256DISP3実行時に初期値にて自動的に作成されます。

VFD256DISP3.INI

このINIファイルにより、以下の項目について指定ができます。

- ・ 接続ポート VFD256Ⅲを接続するシリアルポート番号
- ・ ボーレート 115200 (固定)
- ・ 「表示テスト」ボタンを押した時、VFD256Ⅲの1,2行目に表示する文字列
- ・ ファイルでメッセージを送信する場合のファイル名

以下は、VFD256DISP3.INI ファイルのデフォルト値です。

[Access]	
Port=	<i>接続するシリアルポート番号</i>
Baud=115200	<i>ボーレート</i>
[DefaultText]	
Text1=ABCDEabcde+¥123-	<i>表示テストボタンを押下時1行目に表示する文字列</i>
Text2=アイウエオカキクケコサシスセソタ	<i>表示テストボタンを押下時2行目に表示する文字列</i>
[File]	
NAME=VFD256.txt	<i>ファイルでメッセージを送信する場合のファイル名</i>

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INIファイルには記述しません。

VFD256DATA3.INI

VFD256DISP3のタブ1からタブ5のAからZの各ボタンに登録した情報がVFD256DATA3.INI ファイルに以下のフォーマットで保存されます。

```
[Tab1_ButtonA]
Title=          タブ1 ボタンAのタイトル
Mode=          タブ1 ボタンAの表示モード Ma3、Mb、・・・、Mm
Text1=         タブ1 ボタンAのVFD1行目に表示する文字列
Text2=         タブ1 ボタンAのVFD2行目に表示する文字列
Text3=         タブ1 ボタンAのVFD3行目に表示する文字列
Text4=         タブ1 ボタンAのVFD4行目に表示する文字列
SFont=         タブ1 ボタンAのスクロール文字サイズ 8, 16, 32
SPos=         タブ1 ボタンAのスクロール表示位置 0、1、・・・、7
SText=        タブ1 ボタンAのスクロール文字列
                全角50文字(半角100文字)

[Tab1_ButtonB]
Title=          タブ1 ボタンBのタイトル
Mode=          タブ1 ボタンBの表示モード Ma3、Mb、・・・、Mm
Text1=         タブ1 ボタンBのVFD1行目に表示する文字列
Text2=         タブ1 ボタンBのVFD2行目に表示する文字列
Text3=         タブ1 ボタンBのVFD3行目に表示する文字列
Text4=         タブ1 ボタンBのVFD4行目に表示する文字列
SFont=         タブ1 ボタンBのスクロール文字サイズ 8, 16, 32
SPos=         タブ1 ボタンBのスクロール表示位置 0、1、・・・、7
SText=        タブ1 ボタンBのスクロール文字列
                全角50文字(半角100文字)

・・・
・・・
・・・

[Tab1_ButtonC]から[Tab5_ButtonJ]までは省略
```

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INI ファイルには記述しません。

VFD256TAB3.INI

VFD256DISP3 のタブ名は VFD256TAB3.INI ファイルに以下のフォーマットで保存されます。各タブ名のデフォルト値は以下の通りです。

[TabName]

TabText1=タブ 1

タブ 1 の名前

TabText2=タブ 2

タブ 2 の名前

TabText3=タブ 3

タブ 3 の名前

TabText4=タブ 4

タブ 4 の名前

TabText5=タブ 5

タブ 5 の名前

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INI ファイルには記述しません。

タイトル	VFD256Ⅲユーティリティソフト VFD256DISP3 取扱説明書
初版発効日	2024年3月15日
版管理日	2024年3月15日
著作者	常山 明子
管理ファイル	VFD256DISP3_1.0_20240315.docx
発行元	テクノベインズ株式会社 東京都台東区台東 4-21-21 〒110-0016 橋本ビル 2F 電話:03-3832-7460 https://www.technoveins.co.jp